

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月21日

議 会 議 長 様

議席番号 7 番

議員氏名 江 口 栄 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 待機児・保留児の解消を	<p>2024年4月新年度がスタートしました。昨年、杉戸中央みちのこ保育園が開園して、待機児については、解消が図られてきました。しかし現在も、待機児・保留児がいます。</p> <p>そこで、町の子育て施策について、以下伺います。</p> <p>(1) 保育園の待機児・保留児の解消を。</p> <p>①直近での保育園の待機児・保留児の状況は。(地域別人数)</p> <p>②町立保育園は現在、0歳児クラスの受け入れを行っていないが、なぜか。0歳児を預けたい保護者はいないのか。</p> <p>③保育園の待機児・保留児の解消に向けて、どのような対策を行っているのか。</p> <p>(2) 放課後児童クラブの待機児童解消を。</p> <p>①直近での放課後児童クラブの待機児の状況は。</p> <p>②直近で、定員より多く入所している放課後児童クラブの状況は。(クラブ名、定員数と入所している児童数)</p> <p>③町としての待機児の対策は。</p> <p>④夏休みなどの長期休業中の入所者を、どのように見込んでいるか。</p> <p>(3) 町として子育て世帯に切れ目のない支援を。</p> <p>①子育て世帯移住・定住促進奨励金について、令和5年度における地域別の申請者数は。</p>	<p>町長 副町長 教育長 子育て支援課長 教育総務課長 総合政策課長 担当課長</p>

5月21日 午前・午後 9時15分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 高齢者の補聴器購入に助成を	<p>高齢者が聞こえづらくなった場合の補聴器購入に対して、町が補助することを求めて質問します。</p> <p>補聴器は、加齢性の難聴に悩む高齢者の「聞こえ」を補い、日常生活を支えています。軽度や中等度の難聴の場合、購入費が高価なため、補聴器の購入をためらう人もいます。難聴によりコミュニケーションが少なくなったり、社会との関りが減ることにより、認知機能に影響が出る可能性があります。</p> <p>町が補聴器購入費用の一部を助成することにより、補聴器の利用を促進し、高齢者の地域社会への参加を支援することで、認知症予防が図れます。</p> <p>誰もが補聴器を買えるようにしてほしい。そんな声が広がり、補聴器助成を行う全国の実施自治体（市区町村）は、2024年4月6日現在では、270自治体になっています。</p> <p>埼玉県では、秩父市、小鹿野町、滑川町、草加市、鴻巣市、吉見町、皆野町、越谷市が補聴器助成しています。2024年4月から、戸田市、蕨市、嵐山町、横瀬町、川口市が補聴器助成を実現しました。</p> <p>埼玉県内は、13市町村が助成しています。戸田市は一人一回、限度額4万円、200万円の予算です。鴻巣市、蕨市は、1回4万円、越谷市は3万円、あとの市町は2万円です。</p> <p>当町でも高齢者の認知症予防のためにも、補聴器購入に対して助成をすべきと考えますが、町の見解は。</p>	<p>町長 副町長 高齢介護課長 担当課長</p>